

### 1月24日第3回「業務協議会」開催

業協についての各職場での議論を！そして緊急集会に結集しよう！

- **理事会を信頼して欲しいし、信頼の回復に勤めたい。**
- **労働条件についても議論していきたい。議論を通じて信頼の回復に努めたい。理事会と教職員の信頼関係を深め広げていくことに何も異論はない。**（川口総長発言）

しかし

- ◆ **立命館学園における「私学危機」語れず。**
- ◆ **一時金カットについて、納得できる説明なく、人件費抑制論を主張し総長発言補強するまともな発言なし！**

約200名の組合員の参加で開催された第3回「業務協議会」は、当初出席予定の理事長が「体調不良のため欠席」という事態が発生しましたが、総長および専務理事が代理を勤める中で、交渉を進めました。

なお、多くの組合員から「制限なき業務協議会の開催を！」との声をもとにギリギリまで折衝しましたが、残念ながら「制限」を解除するまでに至りませんでした。しかし、議論の中で総長から「交渉」の制限について「一律に制限するものではない」と確認を取ることができたのは、組合として一つの成果です。

また総長からは、①2007年度の全学論議のスタートにしたいという意味では、情勢論議、教育・研究課題のなど議論できスタートとしてよかった。②理事会をぜひ信頼して欲しいし、信頼できないのであればぜひ充分議論がしたい。信頼の回復を勤めたい。③労働条件について、理事会はきちんと議論していきたい。労働条件の議論を通じて信頼の回復に努めていきたい。理事会と教職員の信頼関係をきちんと深め広げていくことに何も異論はない。と発言があり、次につなげる議論ができたのも大きな成果です。

一時金カット問題については、理事会が7月19日の第2回「業務協議会」で持ち出した「私学危機」について、私たち組合は真剣に議論し、教学危機としてとらえ、その教学危機を脱するためには学生実態から学園課題を議論することが必要であること主張し、私たちは課題の共通認識を勝ち取りました。その上で、その課題を前進させるために労働諸条件の議論が必要であるという事も一致させました。その課題を支える教職員の労働諸条件の一つとして一時金を戻すことを理事会に要求しましたが、理事会の回答は、これまでの主張を繰り返すばかりで、私たち教職員を納得させることが出来ませんでした。

（教育研究課題を含む詳しい議論内容については、早急にまとめ別途「ゆにおん」でお知らせします）

### 25日の行動提起

- ① お昼は第3回「業務協議会」について一斉に職場集会開催しよう！  
※BKCはコア大会議室でBKC全教職合同職場集会開催！
- ② 19時から抗議集会！（衣笠旧中川401-BKCコア大会議室-朱雀B01）  
※「ノー残業デー」と位置づけ全組合員の参加を要請します
- ③ 20時から新現職場委員・執行委員合同会議を開催  
※今後の方針の確定をします